

2015年1月吉日

関係各位

日本通所ケア研究会
会長 妹尾 弘幸

記事掲載について(依頼)

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

いつも大変お世話になっております。この度当会では、介護分野における認知症ケアの知識・技術向上を図るべく『実践！認知症ケア研修会 2015』を昨年に引き続き横浜・大阪で開催する事となりました。

今回の研修は、介護場面で直面する困難事例をさまざまな視点から解決するをテーマに、さまざまなケア・環境の工夫、アプローチを身に付けていただきます。

プログラムは「認知症ケアの現場におけるリスクマネジメント」「対応の難しい認知症の方へのケアの工夫」「生活機能全般を向上させるための自立支援」「口腔ケア・口腔リハ」を大きなテーマに現場スタッフ、セラピスト、ケアマネジャーなどがそれぞれの役割を真に考え、認知症ケアの推進と向上の参考にしていただける12の分科会を構築しております。つきましては、貴会発行の会報及びホームページ、各種研修会などで本大会開催の情報を掲載していただき、広く皆様にお知らせいただければ僥倖です。

また、会報への同封ならびに貴会主催の研修会で配布いただける場合はすぐに研修パンフレットを必要部数準備いたしますのでぜひ、ご協力・ご連絡をお願いいたします。

貴会のご都合もあることと存じますが、同封のチラシ並び、上記ご賢察の上何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

【学会名】 実践！認知症ケア研修会 2015

【日 程】 (横浜会場) 2015年3月15日(日) / (大阪会場) 2015年3月21日(土)

【参加費】 10,000円(税・資料代込み)

【場 所】 (横浜会場) ウィリング横浜 / (大阪会場) 大阪府社会福祉会館

【講 師】 結城 拓也氏 (特別養護老人ホーム和泉サナホーム施設長)

山本 忠弘氏 (グループホーム渋沢施設長)

松岡 佳美氏 (デイサービスセンターお多福茨城町管理者)

加藤 忠相氏 (株式会社あおいけあ代表取締役)

平松 満紀美氏 (NPO法人健口サポート歯るる副理事長)

【大会HP】 <http://www.tsuusho.com/ninchisyokea/>

【その他】 本研修会は、日本認知症ケア学会単位認定講座です(認知症ケア専門士単位:2単位)

〈お問合せ先〉日本通所ケア研究会
〒721-0902 広島県福山市春日町浦上 1205
TEL(084)971-6686
FAX(084)948-0641
担当:小川 真弘

実践!

認知症ケア研修会 2015

—安心・安全な過ごしやすい環境の提供で残存能力を引き出す—

横浜会場

日時 2015年3月15日(日) 10:00 ~ 17:00
 会場 ウィング横浜 (神奈川県横浜市港南区上大岡1-6-1)
 参加費 10,000円(税・資料代込)

大阪会場

日時 2015年3月21日(土) 10:00 ~ 17:00
 会場 大阪府社会福祉会館 (大阪府大阪市中央区谷町7-4-15)
 参加費 10,000円(税・資料代込)



こんな困り事ありませんか?

- ・ スタッフ間の情報共有がうまくいかず、ヒヤリとする場面が多い
- ・ 下着を脱ぐのを嫌がるご利用者…どんな声かけをしてもうまくいかない
- ・ 大声を出したり暴力をふるう
- ・ 「帰りたい」と言うご利用者に付きっきりになってしまう…
- ・ 口を開けてもらえない! 食べてもらえない
- ・ コミュニケーションがうまくとれず、体調や本人の気持ちが把握できない
- ・ ご利用者にあつた役割をうまく見出せない
- ・ 地域のイベントへの参加は難しい…でも社会とのかかわりを持って欲しい

参加特典



認知症の現場で役立つ
BPSDへの対応事例集
(非売品)をプレゼント!

これで解決!

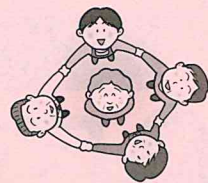
具体的にこんなことを学びます!

- 1 「知っていたら防げたのに…」をなくす実践的なリスクマネジメント
- 2 BPSDの原因を除去する環境・空間づくり
- 3 認知症の特性からみる関係構築実践
- 4 効果を出す口腔機能・口腔感覚の維持向上アプローチ

プログラム 各時間帯で参加したい分科会を自由に選択できる!!

講師	結城拓也氏 (横浜・大阪会場)	講師	山本忠弘氏(横浜会場) 松岡佳美氏(大阪会場)	講師	加藤忠相氏 (横浜・大阪会場)	講師	平松満紀美氏 (横浜・大阪会場)
10:00	分科会① 認知症ケアの現場で効果の上がるヒヤリハット防止活動	分科会② 入浴・排泄拒否があるご利用者への対応の工夫と注意点	分科会③ 会話が通じにくい認知症の方とのコミュニケーションのとり方	分科会④ 誤嚥性肺炎を予防する口腔ケアのポイント	休憩		
12:00	分科会⑤ 認知症の方の転倒に対する効果的な対策と対応	分科会⑥ 帰宅願望・徘徊があるご利用者への対応の工夫と注意点	分科会⑦ 認知症の方の特性・生きがいを引き出すアプローチの工夫	分科会⑧ 実践的口腔ケア ～意思疎通のできない方へのアプローチ～	休憩		
14:50	分科会⑨ 認知症の方の対人関係におけるリスクマネジメント	分科会⑩ 利用拒否・介護拒否があるご利用者への工夫と注意点	分科会⑪ 認知症の方が社会・地域の活動へ参加するための環境づくりの工夫	分科会⑫ 口腔ケアで口腔機能を確認 ～摂食率を改善するために～	休憩		
17:00							

認知症ケアの現場に必要な視点と新しいアプローチ法が身に付く!



横浜・大阪会場

リスクマネジメントのポイントは環境整備の工夫

結城拓也氏のリスクマネジメントの視点

社会福祉法人 仁愛会 特別養護老人ホーム 和泉サナホーム 施設長

【当日の内容】 ※内容は変更になる場合があります

分科会①
認知症ケアの現場で効果の上がるヒヤリハット防止活動

- ・ チームケアにおける相手に伝わる書類の書き方と伝え方
- ・ 書類の書き方と伝え方の工夫
- ・ リスクマネジメント活動に関わるヒヤリハット防止活動
- ・ 実例を踏まえてのワークショップ など

分科会⑤
認知症の方の転倒に対する効果的な対策と対応

- ・ 施設内における空間のしつらえ(工夫前と工夫後)
- ・ 転倒予防のためのケアの工夫
- ・ 転倒に関わる効果的なヒヤリハット防止活動
- ・ 実例を踏まえてのワークショップ など

分科会⑨
認知症の方の対人関係におけるリスクマネジメント

- ・ 認知症の方と周囲の環境の相互作用
- ・ 利用者同士で起こり得るリスクにどう対応するか
- ・ その場しのぎの対応と適切な対応
- ・ 実例を踏まえてのワークショップ など

横浜会場

難しいと感じるBPSDへの対応をアプローチの工夫から

山本忠弘氏のさまざまな視点からの検証

医療法人社団 三喜会
グループホーム 渋谷・デイサービスセンター 渋谷 施設長

【当日の内容】 ※内容は変更になる場合があります

分科会②
入浴・排泄拒否があるご利用者への対応の工夫と注意点

- ・ 入浴・排泄の拒否行動には理由がある!その原因を考える
- ・ 嫌な体験・然るべきタイミング
- ・ アイコンタクト ～目は口ほどにモノを言う～
- ・ 共に過ごす・空白時間 など

分科会⑥
帰宅願望・徘徊があるご利用者への対応の工夫と注意点

- ・ 帰宅願望・徘徊には理由がある!その原因を考える
- ・ 帰宅願望のあるご利用者へ「役割活動」
- ・ 徘徊するご利用者と「光や書き」の関係
- ・ 気持ちを和らげる環境づくり など

分科会⑩
利用拒否・介護拒否があるご利用者への対応の工夫と注意点

- ・ 利用拒否・介護拒否には理由がある!その原因を考える
- ・ 利用拒否における家族とのトラブル・利用がつかまらない!
- ・ 顔なじみの関係づくり・その場しのぎの介護からの脱却
- ・ その介護「介護者都合」ではありませんか? など

大阪会場

BPSDを軽減させる言葉かけのテクニック

松岡佳美氏のコミュニケーション技術

NPO法人認知症ケア研究所
デイサービスセンターお多福茨城町 管理者

【当日の内容】 ※内容は変更になる場合があります

分科会③
入浴・排泄拒否があるご利用者への対応の工夫と注意点

- ・ 介護職なら誰でも経験する入浴・排泄場面における拒否
- ・ 「どうして拒否が起きるのか?」を事例を通して考える
- ・ 言葉かけの工夫でご利用者が変わる
- ・ お互いに気持ち良くケアができる環境とは など

分科会⑦
帰宅願望・徘徊があるご利用者への対応の工夫と注意点

- ・ 「帰宅願望」は当たり前!
- ・ 安心・安全で過ごせる環境の工夫(実例)
- ・ 安全に過ごしていただくためのケアの工夫(実例)
- ・ 雰囲気づくりの工夫(実例) など

分科会⑪
利用拒否・介護拒否があるご利用者への対応の工夫と注意点

- ・ 拒否する原因をご利用者の困りごとに焦点を当てて考える
- ・ 拒否の原因をどうご利用者、周りの環境から探すのか
- ・ 認知症の症状と照らし合わせて拒否への対応(実例)
- ・ スタッフがケアの工夫を行える環境づくり など

横浜・大阪会場

認知症の方が主役の地域・施設づくり

加藤忠相氏のプロアクティブケア

株式会社おおいけあ 代表取締役
慶応義塾大学看護医療学部 非常勤講師

【当日の内容】 ※内容は変更になる場合があります

分科会③
認知症の方とのコミュニケーションのとり方

- ・ 介護職の専門性ってなに? ・接近戦のすすめ
- ・ プロフェッショナルによるプロアクティブケア
- ・ 自立支援が支配管理か? ・準備がなくて柔軟性が必要
- ・ 基準以上に配置されたスーパースタッフ集団なんていない!

分科会⑦
特性・生きがいを引き出すアプローチの工夫

- ・ 認知症の特性からみた関係構築実践
- ・ ストレングスに働きかける ・欠損部分にかけていませんか?
- ・ その世代間交流って必要なの? ・金儲けは最強の自立支援
- ・ マニュアルではCAREはできない! など

分科会⑪
社会・地域の活動へ参加するための環境づくりの工夫

- ・ 専門職としての限界を知る「たすけてください!」が言える地域づくり
- ・ ディズニー方式でいうところではめたらどうなるの?
- ・ 場所を変えるだけで不思議
- ・ 地域関連企画の目的と手段を本当に考えているのか? など

横浜・大阪会場

やらなければいけないことやってはいけないこと

平松清紀美氏の効果が実感できる口腔ケア

NPO法人健口サポート 歯るる 副理事長/歯科衛生士

【当日の内容】 ※内容は変更になる場合があります

分科会④
誤嚥性肺炎を予防する口腔ケアのポイント

- ・ 誤嚥を予防する口腔ケア&食事時のポジショニング
- ・ 見落としではないですか?口腔ケアの術式ポイント
- ・ いつ終わればよいの?口腔ケア終了のサイン
- ・ (体験)ポジショニングの重要性 など

分科会⑧
実践的口腔ケア

- ・ 認知症により意思疎通困難と診断された方が意思表示した1症例
- ・ 心を開かぬば、口は開かない〜ご家族の情報から口が開いた〜
- ・ 嫌がらせの口腔ケア・癒やしの口腔ケア
- ・ (体験)知って得する、スポンジブラシの感触 など

分科会⑫
口腔ケアで口腔機能を確認

- ・ 口腔機能と食形態をマッチングさせよう
- ・ 口腔の汚れから、口腔機能を読み取るポイント
- ・ 見る、観る、診る眼を養うことの重要性
- ・ (実技)食べるところを観察するポイント など

注意事項

- 参加費の納付をもって正式申し込みとなります。なお、ご入金後の参加費の返金はいたしません。参加者の変更は可能です。
- 分科会④・⑧・⑫は口腔ケアの実技・体験を予定しています。
- 基本的には自由に参加いただけますが、1つの会場へ参加者が集中した際は、運営の安全性を考慮して他の会場へ移動していただく場合がありますことをあらかじめご了承ください。
- 参加費とは別に材料費が必要になる場合は参加証に明記いたします。
- 会場準備・当日配布資料準備のために、下記申し込み欄に現時点での参加希望講座をご記入ください。

FAX 084-948-0641

FAX送信の際は番号をよくお確かめの上、お間違えないようお願いいたします。

実践!認知症ケア研修会2015 参加申し込み書

ご希望の会場に○をしてください	3/15(日) 横浜	3/21(土) 大阪	
アンケートにご協力ください 分科会への参加人数把握のため、現時点での参加希望講座の番号を記入してください	10:00 () 12:00 ()	12:50 () 14:50 ()	15:00 () 17:00 ()
ふりがな	連絡先 (自宅・勤務先)		
氏名			
住所 (自宅・勤務先)			
勤務先			
	TEL		
	FAX		
	携帯		
	メール		
	職種		

※上記個人情報、当研究会の管理・運営に関して使用します。
参加費の納付をもって正式申し込みとなります。なお、参加費の返金はいたしません。お申し込み後1週間たっても入金案内が届かない場合は、事務局までご連絡ください。

お問い合わせ

日本通所ケア研究会事務局 〒721-0902 広島県福山市春日町浦上1205 (株) QOL サービス内

TEL 084-971-6686 FAX 084-948-0641 メール info@tsuusho.com

申し込みホームページ <http://www.tsuusho.com/ninchisyokea/> 認知症ケア2015 検索 詳しくはwebで!